



医療法人社団萌気会  
在宅療養支援診療所(二日町)  
在宅療養支援有床診療所(浦佐)

# もえぎ

# 5

Vol. 384  
2024/5.15

山菜の収穫

撮影地: 曼陀羅華/ハイマートハイム・島田

撮影者: 各施設職員

佐藤

登さん書



新聞委員  
山田 香

※木の芽

※タラの芽



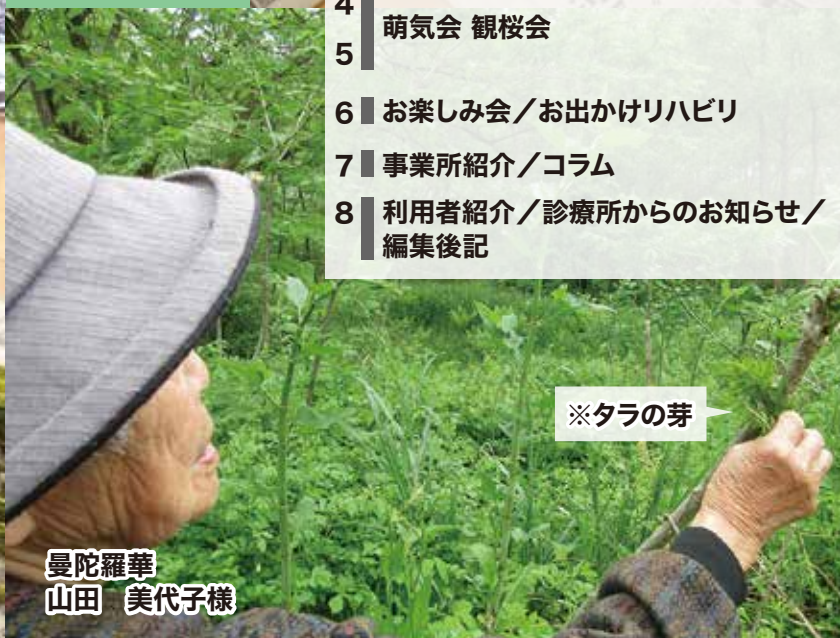
ハイマートハイム島田  
羽賀 キン様

※こごみ



ハイマートハイム島田  
行方 千江子様

※こごみ



※タラの芽

曼陀羅華  
山田 美代子様

## INDEX

- 2 春のあれこれ/  
さくりの郷所長・管理者就任挨拶
- 3 黒岩卓夫一代記
- 4 萌気会 観桜会
- 5
- 6 お楽しみ会/お出かけリハビリ
- 7 事業所紹介/コラム
- 8 利用者紹介/診療所からのお知らせ/  
編集後記



萌気園二日町診療所 院長  
皆川 秀夫

今冬は暖冬だったのだろう。1月と3月にまとまった雪が降らなかった。全国的にも3月中旬から夏日が出現、季節が2ヶ月位早くなった。4月末にも気温が上り、一部には30度に達するところもあるようだ。昨年から続いたエルニーニョ現象が終了し、今年の夏からはラニーニャ現象発生の可能性が高まっている。この場合、総じて北半球では猛暑厳冬、多雨となりやすく、天候状態は不順となり易いと言われる。当地では4月中旬、晴れ日が続く気温も上り、桜が一気に開花したが、その後は雨強風で大分散ってしまった。最近では毎日小雨模様で気温も上らない。が花の季節はやってきた。路端には水仙が咲いている。坂戸山の下にはカタクリの群落がみられる。庭先にはレンギョウ、コブシ、モクレン等々、田に残雪なく一部では田植え準備も始まっている。



撰取されていたスギヒラタケによる急性脳症17人が死亡したことである。この原因は不明であった。自然界には何が起るかわからない。このことは疫病の流行にもつながる。インフルエンザ、新型コロナウイルスの流行しかりである。



小規模多機能ホーム 「さくりの郷」  
所長・管理者 岡本 さとみ



4月1日よりさくりの郷の所長に就任いたしました。  
さくりの郷は「気まま そのまま ありのまま」を合言葉に開設して11年目を迎えます。空気の美味しい大自然に恵まれた環境で、引き続き五十沢地域のお力添えをいただきながら、ご自宅での生活が続けられるよう利用者さんひとりひとりを大事にします。そして利用者さんを支えるご家族や地域の方々と繋がり、福祉のことに気軽に医療・介護・福祉のことを相談できる場所にもえぎを目指しております。

私個人も事業所としても、少しでも成長できるようにスタッフと一緒にゆっくり歩んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。



# 春のあれこれ

# さくりの郷所長・ 管理者就任挨拶



それから2週間ほど経って  
事態は急変した  
春治さんが腰を痛めて  
寝たきりになって  
しまっていたのだ



そのため炊事は  
カネさんが手探りで  
やっているらしい



急遽、看護師が初めて  
春治さんへの  
正式訪問を行った  
今まではカネさんの  
訪問時のついでに  
春治さんを診ていた  
だけだった



その翌日  
往診に出かけた



春治さんのお尻には  
床ずれができており  
血圧も下がり  
人の言うことも聞かえず  
話そうともしなかった



見かねた看護師は  
嫁を呼びに行った



なんで、  
こんななるまで  
放っておいたん  
ですか？



放ってなんて  
ないですよ！  
動けなくなつてからは  
ちゃんと見てるから



今までさっさと  
自分勝手にやってきて、  
若手の言うことなんていっせ  
聞きやしなかったからね  
仕方ないでしょ。



あの升瓶が転がってるが、  
みんなじいちゃんか  
飲んだ酒だすけね  
酒が飲みたいばっかで  
入院を嫌がってる  
だけです  
その酒代だつてみんな  
うちらが払ってるんですよ  
自分のお金で買ったなんて  
嘘ばっか…



じいちゃん達には7人も  
子どもがいるがんに、  
こうなつたつて誰も見に来ない  
で面倒見んきゃならんくて、  
大変なんですよ  
せがれ夫婦も共働きで  
家のことは全部私に  
任せっきりで



もし入院になつても病院に  
見舞いにも行つてやらんないし、  
もう私に任せてくんねえかね  
ご飯だつてこついで  
なんとかしますんで



私はそれまで  
全く嫁の意見を聞いていない  
ことに改めて気づいた  
お気持ちはよく  
わかりました  
もし、入院できるので  
あれば二人とも  
そうさせてください



しかし翌日、予期に反して  
ばあちゃんだけ入院させて  
ほしいと電話が入り  
入院することになった

春治さんの家は子が7人という私の家と同じだ。いずれにせよ大変だったね…。また嫁、は思い切った発言は難しい。やっとお嫁さんの気持ちををはっきり聞いた。このやりとりだけで何か本当のことを言葉にしていると思った。春治さんはいつも本音だけを言葉にしていたのかな？カネさんはいつも影にいたのかな…。勉強になったね。

## 萌気会 観桜会

## 小規模多機能ホーム 「さくりの郷」

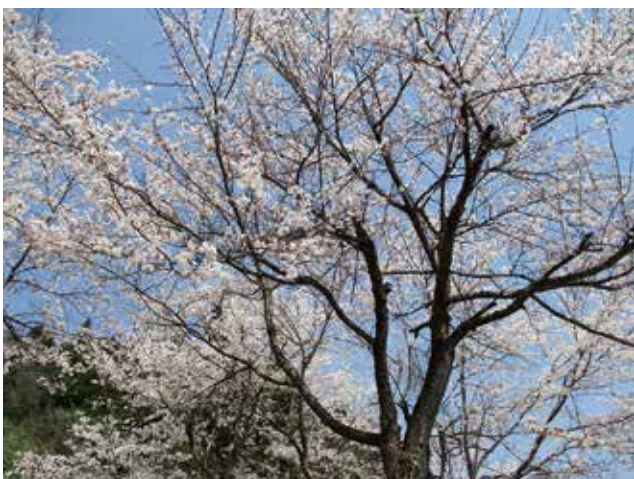
4月12日(金)創業当時からお世話になっている地域の方より「ちょうど桜が見ごろだすけ!ちょっと見に来らっしゃい」とお誘いを受けたので遠慮なくおじゃましてきました。素敵なお庭を拝見し皆さん「見事だな~!!」と大絶賛。思いがけず素晴らしい時間を過ごさせていただきました。来年も楽しみにしています。

4月15日(月)次の日から天気が悪くなるとのことで急遽五十沢地域のお花見スポットに出かけてまいりました。満開の桜も良いですが、散り際の桜もまた美しいものですね。いつ見ても桜は素晴らしいです。



## 萌気園グループホーム 「ふきのとう」

ふきのとうでは、4月14日に施設近くの川沿いのスペースにて、ご近所の方に相談してご理解を得ながらお花見をしました。天気に恵まれて暑いくらいでしたが、綺麗に咲いた桜の下で、特製のお弁当を食べながら楽しそうに過ごされている利用者さんの表情を見ることができて良かったと思えました。



## 看護小規模多機能居宅介護 「コム・ソフィ&ナース」

## 萌気会 観桜会

4月17日、コム・ソフィ&ナースのフロアにて、窓の外に広がる満開の桜を眺めながらお寿司と特製ゼリーを召し上がっていただきました。

桜の開花日が予想できずに少し遅めの観桜会となりましたが、前日からしっかりと準備ができたので、行事当日はスムーズに進めることができました。

お寿司は、利用者さんの好みや食事形態に合わせて注文をしたので、皆さん残さずに召し上がっていて、お代わりをする方も多く見られました。また、春の雰囲気を感じていただけるように、花や動物の形をあしらった特製ゼリーもご用意しました。



コム・ソフィの窓から望む桜並木は絶景!!!



## 小規模多機能居宅介護 「たもんの郷」

たもんの郷では、施設前の小学校にある桜の開花が待ちきれずに、開花に先駆けて4月中旬に花咲かじいさんの壁面作りを行いました。利用者さんと職員が一丸となり、壁面いっぱいには作りの花びらを敷き詰めて、綺麗な満開の桜を咲かせました。



花びらは、作りが細かくとても丁寧に仕上がっています。



## お楽しみ会

## 萌気園大和通所介護 【地蔵の湯】

地蔵の湯では、4月の行事として17日18日とお楽しみ会を催しました。特製ホットケーキに舌鼓、超絶神業のマジックショーで大興奮と、利用者さん達に大変喜んでいただけた様子でした。

### 4/17 ホットケーキパーティー

焼きたてのホットケーキに、みかんや桃などの果物と生クリームを盛り付けました。皆さんが美味しそうに召し上がっていました。



### 4/18 マジックショー

- ・千円札空中浮遊
- ・ビンから国旗が出現
- ・ウーロン茶が透明に変色
- ・手の平からトマトが出現
- ・服の中から色んな物が出現



## 4月24日お出かけリハビリ

## 通所リハビリセンター浦佐 米山 光恵

新緑が始まった魚沼から少し飛び出し、十日町市、日本三大渓谷のひとつ清津峡まで行ってきました。トンネルの全長は750メートル。「歩き切れるかな？」心配の声もある中、途中途中の見晴場で少しずつ芽吹き始めた緑、雪解け水で迫力ある清流を堪能しながら歩き遂げ、終点のパノラマステーションでは皆で素晴らしい渓谷美を見ることができました。

トンネル内はただ平坦の道ではなく、傾斜があったり凹みがあったりと決して楽な道のりではなかったけれど往復1.5キロ歩き切った皆さんは大きな自信に変わったのでは?と思います。

終始笑いの絶えない旅で楽しい1日を最高のメンバーで過ごすことができました。

また行きましょう!



萌気園老人ホーム「すみれ草」は、使い慣れた介護保険サービスなどを継続しながらご利用いただける住宅型有料老人ホームです。

ただいますみれ草では卓球がブームです!「卓球がしたいなあ。」という利用者の皆さんの声から、職員がお手製のラケットを作りました。

最初から利用者さん達の方が職員よりもお上手でしたが、回を重ねるごとに熱が入り、びっくりするほどの腕前です。



## 遊びきる

## 安心コラム

このコラムで、今書いている「自分の本」。「自分の本」としか言えないなと思いながら、家族に原稿の感想を聞くチャンスがあった。

ただ成功的の人生を語る、自叙伝、にしたくない。しかし自分の苦楽の人生も知ってほしい。小さな出来事でも、小さな物語のように組み立てれば伝達できるのでは？

しかもその難問にモロにぶつかったのは、信州の山村の自分の母校、〓小中一貫校、となるが、この学校たるや既に皆さんにもお伝えしたように、普通の田舎の人口減にあえぐ学校ではなく、学校そのものは移住者や町の市街地からの子たちで膨らんでいるのだ。

学校と地域を繋げる公的コーディネーターに相談した。

自分が東大へ行ったなどと表には出さないほうがいいと思うけど。

ところが彼は「いや東大などドンドンしゃべってくれ」という。

どうかなと今でもいぶかったまま、「遊びきる」「学びきる」「変わる」のキーワードは宙に浮いたままだ。この「遊びきる」だけでも重く、押しつぶされると受けとめるかもしれない。

遊びきる(…)も子どもにとっては、とても難しく、遊びでも自分のものでなく、自己表現になるかどうかかわらないと娘に指摘された。

今、本を書くペンをおいて、どうしたらよいかと思案している。



DR.T.KUROIWA

## うちの利用者さん

萌気園浦佐有料老人ホーム  
「ハイマートハイム・島田」

大正7年8月16日生まれ。105歳の高橋キクノさんです。  
今年8月に106歳を迎えられます。お歌が好き。甘い物大好き。幼少期の夢は歌手でした。いつも優しい笑顔ニコニコ、みんなを癒してくれます。ハイマートハイムのアイドルさんです。  
これからも元気で、目指せ日本一最長老!!



高橋 キクノ様

## 浦佐診療所よりお知らせとお願い

**浦佐診療所では、  
6月中旬頃電子カルテへの移行を予定しております。**

**診療の一部を変更、  
もしくは休診させて頂く可能性があります。**

**お薬がなくならないよう、早めに受診するなど、  
ご協力をお願い致します。**



## 編集後記

看護小規模多機能居宅介護 コム・ソフィ&ナース  
介護主任 佐藤 陽香

コロナが第五類へ移行してから一年が経過しようとしています。南魚沼市内の桜で有名な公園で催された観桜会では、キッチンカーが数台出店して連日大勢のお客さんが訪れており、コロナ禍以前の賑わいを取り戻しつつあるようでした。萌気会の各施設でも、とっておきの桜の名所でお花見が行われたようです。市内では4月末頃からハナミズキや藤が咲き始め、色とりどりの草花と鮮やかな新緑が広がり自然も人も活力に満ち溢れています。ただ、未だに寒暖差が激しいので日中の暑さや乾燥、朝晩の冷え込みに気を付けたい所です。

ゴールデンウィークということで、初夏の爽やかな陽気の中で様々な土地へ出掛けて旅行を楽しみ、人との交流が増える時期だからこそ、コロナ禍で培った感染予防対策を最大限に活用しながら健康維持と余暇の楽しみを両立して、元気に夏を迎えられるようにしたいと思っています。

今月も最後までお読みいただきありがとうございました。

